

プルサーマル計画に関する浜岡原子力発電所安全等対策協議会からの  
要請事項に対する回答について

平成 20 年 12 月 5 日

当社は、浜岡原子力発電所4号機で、平成22年度から実施を計画しているプルサーマル計画に関連し、平成20年11月6日、浜岡原子力発電所安全等対策協議会(※)から要請事項を受領しました。

これらの要請事項に対する当社の対応状況について、本日、浜岡原子力発電所安全等対策協議会に対し回答を行いましたので、お知らせいたします。

※ 浜岡原子力発電所安全等対策協議会は、原子力発電所設置に伴い、住民の安全確保と地域の開発について研究をし、地域の発展と福祉の向上に寄与することを目的に、御前崎市と隣接3市(牧之原市、掛川市、菊川市)の首長・議会代表・事業所代表・住民代表等を構成員として活動されております。

以 上

プルサーマル計画に関する浜岡原子力発電所安全等対策協議会からの  
要請事項および要請事項に対する回答について

**【要請事項1】**

◇原子力発電所の運転には安全の確保及び地域住民の理解と安心感が不可欠であることから、トラブルの発生防止並びに一層の理解促進、管理体制の充実強化、情報公開の徹底及び積極的な情報提供に努めること

**【要請に対する回答】**

◇当社の「品質方針」(社長決定)において、「原子力安全を最優先に、電力の安定供給に努め、地域に信頼される発電所であるよう努力する」旨を謳っており、発電所で働く者全員が常に本精神を踏まえて行動することとしています。引き続き、原子力安全を最優先とした業務運営に取り組んでいきます。

◇事故・故障や運転情報等について公表するとともに、他電力やメーカーとの情報共有化促進を目的にニューシア(※)への登録を行っています。これまでの公表事象に加え、3号機第15回定期検査から、定期検査期間中に発生した軽微な事象についても、情報共有することが望ましいと判断した事象はニューシアに登録し、ホームページでもお知らせすることとしました。

※ニューシアとは、原子力発電所や原子燃料サイクル施設の運転に関する情報を広く共有化するためのインターネット・ホームページ「原子力施設情報公開ライブラリー」のことで、「有限責任中間法人 日本原子力技術協会」が平成15年10月より運営を行っています。

◇「運転状況／リアルタイムデータ」に、今後、モックス燃料を取り扱うエリアの放射線線量率データを追加します(平成21年度公開予定)。

◇今後とも、継続的に改善を図りながら、安全最優先と情報公開を徹底していきます。

## 【要請事項2】

◇国が実施する新耐震指針に照らした浜岡原子力発電所の耐震安全性の評価結果及び「中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会」の調査結果による必要な措置については確実に実施するとともに、地域住民の安心感が確保されるよう発電所全体の耐震性の向上に努めること

## 【要請に対する回答】

### 国が実施する新耐震指針に照らした耐震安全性評価結果を踏まえた措置について

◇浜岡原子力発電所では、平成18年9月に改訂された新耐震指針に照らして、基準地震動Ss（800ガル）を策定し、各号機の耐震安全性を順次評価しています。

◇この耐震安全性評価については、平成19年1月に4号機、同年2月に3号機の評価結果を原子力安全・保安院に報告しました。現在、原子力安全・保安院の耐震・構造設計小委員会において、当社の評価結果の妥当性について確認をいただいているところです。今後、原子力安全・保安院の確認結果を踏まえ、反映事項については、適切に対応していきます。

### 「中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会」の調査結果を踏まえた措置について

◇東京電力（株）より報告された柏崎刈羽原子力発電所の地震観測データの分析結果や基準地震動など、新潟県中越沖地震で得られた知見についても、原子力安全・保安院の審議などを踏まえつつ、反映すべき点があれば適切に対応していきます。

◇新潟県中越沖地震を踏まえ、あらためて、「社会的反響の大きい事象の発生リスク低減」、「地震発生後の初動対応および確実な情報発信」および「地震発生後の調査・点検や運転再開に向けた円滑な対応」の観点から対応事項を洗い出し、必要な対策を前倒しで実施するなどの対応を図っています。

◇「中越沖地震における原子力施設に対する調査・対策委員会」の調査結果についても、上記の取り組みの中で、対応していきます。

### 発電所全体の耐震性の向上について

◇安全上重要な設備に対しては、平成17年1月以降自主的に「耐震裕度向上工事（目標地震動：約1,000ガル）」を実施してきており、3～5号機については平成19年度に完了し、1,2号機については現在評価中です。

◇安全上重要な設備以外（耐震B、Cクラス設備、その他設備等）について、「放射性物質漏えい防止」、「火災発生リスクの低減」、「迅速な情報発信」、「速やかな災害初動対策の実施」といった観点から、設備の改良工事などの機会をとらえ、可能なものから順次耐震性向上などの対策を実施してきています。

◇具体的な検討状況や取り組み状況等については、適宜お知らせしていきます。

### 【要請事項3】

◇各種防災訓練は実効性を高めるなど、一層の充実を図ること

#### 【要請に対する回答】

- ◇浜岡原子力発電所では、災害の未然防止及び拡大防止に係る意識の高揚並びに技能の向上を図り、災害対策活動が迅速かつ適切に行えるよう、従来から総合的な防災訓練を毎年実施しています。
- ◇具体的には、緊急事態対策訓練、地震防災訓練、所轄消防署との合同火災対応訓練等を実施し、訓練をとおして災害対策が有効に機能することを確認・評価し、評価結果により必要に応じて改善を図っています。
- ◇平成20年度の防災教育・訓練計画では、中越沖地震の教訓等を踏まえ、火災初動対応訓練の頻度を増加する等の教育・訓練の充実を図りました。
- ◇また、4市および静岡県が実施する原子力防災訓練等には、訓練の計画策定への協力、本部体制下での通報連絡、要員の派遣等を行い、積極的に参加しています。
- ◇今後も、訓練をとおして災害対策が有効に機能することを確認・評価し、評価結果により必要に応じて改善を図っていきます。

### 【要請事項4】

◇地震の発生が予想される場合の原子炉の停止基準について検討を行うこと。また、発生した場合の自動停止の加速度設定値変更は確実に実施すること

#### 【要請に対する回答】

- ◇地震の発生が予想される場合、浜岡原子力発電所では、国から発表される地震関連事情に応じて、電力の需給状況を勘案しながら、原子炉を停止するなどの対応をとることにしています。  
具体的には、東海地震注意情報の段階では、電力の需給状況を勘案しながら段階的な停止などの措置を講じ、東海地震予知情報(警戒宣言発令)では、電力の需給状況を勘案しながら運転を停止します。
- ◇電力の安定供給の観点から不必要な停止を招くことなく、かつ早期に原子炉を自動停止させるとの観点から検討を行い、1～5号機の地震による自動停止の設定値を、現在の150ガルから、水平方向を120ガルに、鉛直方向を100ガルに変更することとしました。  
変更の時期は、下記に示す各号機の定期検査に合わせて行う予定です。
  - 3号機:第16回定期検査
  - 4号機:第11回定期検査
  - 5号機:第 3回定期検査(実施済み)1, 2号機については、現在実施中の定期検査期間(平成22年度末まで)中に行う予定です。

**【要請事項5】**

◇立地市及び周辺3市住民との信頼関係の醸成を目指し、引き続き地域貢献に努めること

**【要請に対する回答】**

◇平成17年1月の5号機営業運転開始に合わせ、地域対応を総括的に行う部署として「浜岡地域事務所」を発足させ、現在、地域と発電所を繋ぐ総合窓口として各種地域活動を展開しています。

◇引き続き「地域のみなさまの親近感・信頼感の醸成」を目指し、原子力館を拠点とした各種イベントを開催するとともに、発電所の近況、プルサーマル計画や地震対策、さらには原子力発電の必要性等について、より理解を深めていただけるよう、「タイムリーな情報発信」と「双方向コミュニケーションの積極的な実施」を柱とした広報・広聴活動に努めていきます。